

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設建設及び修繕事業				整理番号	32		枝番号			
所属部課名		政策経営部営繕課		コード	001901	連絡先電話番号	1553		昨年度整理番号	783		
係名				管理係		上位施策名			No			
予算事業名				施設一元管理・営繕事務		コード	05650		行政財産の適切な取得・運営及び維持管理	72		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		40 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区工事施工規程 (2) 杉並区設計審査会設置要綱 (3) 杉並区施設保全実施要綱					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	区有施設											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
各主管課からの執行委任及び施設一元管理から、区有施設の建設と修繕の計画、設計、工事、監督及び工事に伴う起工、支払い事務を行う。なお、修繕工事については、工事の必要性や優先度を判定し、修繕実施計画を作成する。				(1) 区有施設の建設・修繕工事及び設計委託等の起工件数 (2) 施設計画保全対象施設数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
各施設の利用目的に沿った、安全で快適な施設を建設するとともに、既存施設の長寿命化とランニングコストの縮減を図る。				(1) (代)当該年度計画保全工事件数 / 施設計画保全対象施設数 (2) (代)施設計画保全対象施設延床面積								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		件	94	101	140	187	153				
	活動指標(2)		施設	283	298	298	287	289				
	成果指標(1)		%	21	25	34	52	43				
	成果指標(2)		m ²	252,267	254,345	254,345	254,967	292,930				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,691,373	2,645,982	2,698,180	2,625,898	3,378,859	特記事項 事業費は、各主管課からの執行委任額の計と営繕事務費(14年度からは施設一元管理も含む)の合計である。 平成12年度からの営繕課職員1人当たりの執行額(÷) 平成12年度:43,041千円 平成13年度:66,599千円 平成14年度:66,681千円 平成15年度:94,912千円			
	(内)委託費		千円	32,801	42,457	50,327	55,395	47,144				
	職員数(正規 非常勤)		人	39.07 0.58	39.73 0.58	39.19 1.58	39.38 1.24	35.60 1.86				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	354,873	360,868	355,963	357,689			323,355	
		非常勤職員分		千円	1,702	1,702	4,637	3,639			5,459	
	総事業費 + +		千円	2,047,948	3,008,552	3,058,780	2,987,226	3,707,673				
	単位あたりコスト ÷		円	21,786,681	29,787,644	21,848,429	15,974,471	24,233,157				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,047,948	3,008,552	3,058,780	2,987,226	3,707,673					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		これまで、区の事業拡大に伴い、多くの区有施設が建設されてきた。現在も、一定の新築物件はあるが、行政需要の変化に伴う用途変更や老朽施設の改築、耐震補強工事、設備システムの全面改修等の修繕工事が多くなってきている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		施設の計画段階では、近隣へ与える影響に対する要望として、圧迫感の解消や目隠しの設置等がある。工事段階では、騒音、振動、違法駐車等への苦情が多くなってきている。また、シックハウス対策等の環境対策に関心が高まっている。									
	今後の予測		2005年には、建築後30年を経過する施設の割合が3割を超えるため、大規模改修や老朽改築、施設の用途変更に伴う修繕工事が増加することが予想される。また、環境指向が高まる中、省エネ対応やシックハウス対策等が求められる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	133.6	活動指標(2)の14年度達成率%	96.3	14年度予算執行率%	97.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	施設一元管理予算において、確定差金使用申請を行い施設の不具合などの改善に努め、予算の効率的な執行を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	従来、各主管課から執行委任された上で行っていた修繕工事について、14年度から新たに「施設一元管理事業」として一括して配当を受け、年度当初に予定されていた年次修繕計画工事以外にも、必要度が高いと判断したものや年度途中で突発的に発生する緊急工事を効率的に施工した。 また、施設保全計画情報管理システムについては、賃借並びに保守委託契約を結び、使用上・操作上の不具合の調整やシステムの機能向上を図った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 施設建設に当たっては、設計審査会を設置し、工事費の縮減に取り組んでいる。また、優先度に基づき修繕工事を実施することにより、不要不急の工事をなくすとともに緊急工事に対し迅速・的確な対応ができた。さらに、各主管課で実施している保守点検業務委託の標準仕様書を定め、維持管理費の低減を図っている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区の経営資源である施設について一定の品質を確保しつつ、新たに建設する場合は適正なコストで建設するとともに、既存の施設を安全・快適に維持管理していくことは、区の重要な責務である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 対象が区有施設であるため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 施設保全計画情報管理システムを活用することで、平成16年度年次修繕工事の屋根及び外壁について、計画保全の推進を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設計画保全を推進するためには、各施設の修繕部位ごとの耐用年数に合わせ、予防的保全工事を行う必要があるが、既存施設に建設年度の偏りがあり、多額の工事費用を必要とするピークが予想されるため、財政状況を考えると平準化する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	施設の老朽化に伴い、多額の工事費用を必要とするピークは2005年以降と予想しているため。				